

クリニカルシーケンス (OncoPrime™) のご紹介

京都大学医学部附属病院 がん薬物治療科 高 忠之

近年、次世代型シーケンサーの登場により、短時間で網羅的な遺伝子変異の解析が可能となりました。現在の日常診療においても、肺がんでの EGFR 遺伝子や大腸がんでの RAS 遺伝子などの遺伝子の検査が行われてはいますが、クリニカルシーケンスとは遺伝子の異常を一度に網羅的に解析し、そこから得られた情報をがんの診断や治療に役立てようとするものです。現在、アメリカ合衆国ではクリニカルシーケンスは大学病院やがんセンターなどのアカデミック施設においてはルーチン検査となりつつあります。一方、高額な検査コスト等の問題があり、その臨床的な有用性についてもまだ十分に検証されたものではありませんが、近い将来、クリニカルシーケンスを利用したがんの個別化医療 (Precision Cancer Medicine) は、日常のがん診療の Standard Option の一つとなる可能性があります。

2015 年 4 月、京大病院がんセンターではクリニカルシーケンス (以下、OncoPrime™) を開始いたしました。OncoPrime™ では、223 のがんに関連した遺伝子の異常を一度に検査することが可能で、現在、以下の患者さんを対象としています。

- ① 原発不明がん
- ② 希少がん
- ③ 標準治療に不応となったがん

検査の結果は、変異や増幅の認められた遺伝子の一覧だけではなく、その変異を持つ患者さんに効果の期待される国内で承認済みの薬剤や国内での臨床試験・治験、国内では承認されていないものの海外で承認されている薬剤もしくは臨床試験に関する情報などが提供されます。

～OncoPrime™ のお申し込みについて～

検査は保険適応外の自由診療となります。このため、検査を希望される患者さんがおられましたら、京大病院がん薬物治療科のセカンドオピニオン外来 (OncoPrime 外来) へご紹介ください。尚、現在、京大病院に受診中の患者さんにつきましては、まずはがん薬物治療科スタッフにご連絡ください。

～検査のお申込みにあたり、ご注意頂きたいこと～

- 対象は、原発不明がん、希少がん、標準治療に不応となったがんの患者さんです。
- 希少がんであっても胚細胞性腫瘍など標準治療の確立されているがん種は対象とはなりません。

せん。ただし、標準治療に不応となった場合は、その限りではありません。

- 検査は保険適応外の自由診療となり、¥883,980(税込)の患者負担となります。これは検査のみの費用で、検査後の治療費は含まれません。
- 検体不良等で検査ができなかった場合には、¥540,000 が返却されます。
- 検査結果のご報告ができるまで、約 1 か月半の時間を要します。
- ホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 標本をご提供頂く必要があります。ただし、凍結標本がある場合は凍結標本からの検査も可能です。

尚、詳細につきましては京大病院の以下のサイトもご参照ください。

<https://oncoprime.cancer.kuhp.kyoto-u.ac.jp/index.html>

今後とも、OncoPrime™をよろしくお願い申し上げます。